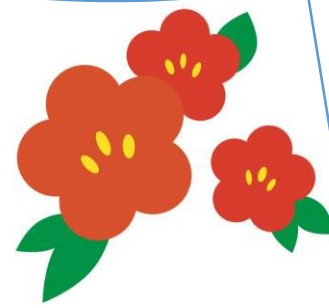




# 看護部だより



第116号  
令和6年1月1日  
国際医療福祉大学病院  
看護部

## 新年のご挨拶



2024年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

まず、新年に発生しました能登半島地震、羽田空港で発生した航空機事故と心の痛む災害や事故が起こりました。被災された皆様や事故に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とそのご家族、ご親族の皆様へ心からの哀悼の意を表します。

ここ数年コロナ対応に追われる日々が続きましたが、昨年からは5類となり新たな体制作りに取り組んでいく時期がまいりました。変えてはならないものを大切にしつつ、勇気をもって変革へと歩みを進めていきましょう。

新たな年が職員の皆様にとって、より幸多い年でありますようお願い申し上げます。

副院長兼看護部長 大草由美子

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。感謝申し上げます。コロナ感染症の5類への移行によって私たちの日常も戻りつつあります。医療者としての役割をしっかりと果たせるようにチーム力を発揮いたしましょう。

さて、今年はどうのような年になることでしょうか。じっくりと考える年、マイペースに進む年、研鑽に励む年、人それぞれの年になることと思います。良い年だったなと思えるようにしたいと思います。

副看護部長 櫛田恵津子

新年あけましておめでとうございます。昨年は皆様にとってどのような年だったでしょうか。2024年「甲辰」は、成功につながるための努力が種子の内側でどんどん育っていくような年だともいわれております。

いま変動の激しい時代ですが、看護の変わってはいけないものを大切にしながら時にふっと一息つき、一歩であっても前進したいものです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2024年皆様にとって幸多い年になりますように、お祈り申し上げます。

副看護部長 荒牧あけみ

# 各部署からも新年のご挨拶をいただきました。

患者のQOLを考えた看護ケアの介入を目指します。  
3E

今年は菩薩様のような心で、  
医師の介助ができるように  
頑張ります。 3W

ルールを守り「無事故、無  
違反」で安全な手術室を  
目指します。 手術室

新チームで、チーム医療を  
実践していきます。  
透析室

明けましておめでとうございます。  
個々人が、他者承認による自己肯定ではなく、自己  
承認により自分の存在価値や満足感を感じられる自  
分作りができる1年になりますように…。 B5

新年早々の危機を皆様の努力で乗  
り切りました。いつもありがとうございます。  
感染対策室

病(ヤマイ)ニ負ケズ、感染ニ負ケズ、  
業務ノ多忙サヤ、負ノ感情ニモ負ケズ  
人トシテ正シイ看護師ニ私ハナリタイ  
4E

心も身体も健康に。今年も  
よろしく願いいたします。  
予防医学

今年も「感謝の心」を忘れずに、自分の役割を果たせ  
るよう頑張ります。  
「安全を優先させる」を合言葉に医療安全の推進を  
共にしていきましょう。 医療安全

みんなで協力し合って問題  
解決に取り組んで参ります。  
C5

質の高い職場環境に努め、  
質の高い看護ケアの提供を  
目指します。 4W

計画性をもって物事が円滑  
に進むように1つ1つを見直  
していきます。 C4

今年のおみくじ「余計な心配をするよりも今日成すべきこと今成すべきことに全力を尽くすこと」頑張ってみます。 B4

多職種で連携し、患者さん・ご家族の辛さやお困りごとを少しでも和らげることができるよう、努力していきたくと思います。

緩和ケアチーム/サポーターケア外来

妊娠・出産・育児が安心して行えるように家族を含めサポートしていきます。また女性の支えになれる様スタッフ一同頑張ります。 B3

少子化と騒がれる世の中で、出生された大切な命が一日も早く家族のぬくもりの中で過ごせるように今年もスタッフ一丸となって頑張っていきます。 赤ちゃんセンター

みなさまからお力添えがあつて、ばーすはうすは歩むことができます。感謝いたします。

少子化の今だからこそ、やらなければならないことがあると思っています。すべての妊娠、出産、育児が幸せであふれるように。いつでも頼っていただける場所であられるように。お一人お一人に寄り添って安全に丁寧な助産ケアを行ってまいります。

ばーすはうす

共に学び続けられる仲間づくりと、教育・実習環境を整えていけるよう努めてまいります。 教育担当

患者様一人一人に寄り添って、病棟や在宅生活への橋渡しができるように支援していきます。 外来

患者様のためにやるべきことをやる。そのための環境を整える。 ICU

## 編集後記

あけましておめでとうございます。多くの方にご協力をいただき今号も発行出来ました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。今年も引き続きより良い看護部だよりを発行できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、「看護部だより」へのご意見・ご要望がございましたら担当者までお声かけ下さい。

